



### 一緒に夢を追いかけてみましょう

地域包括ケアシステムは、住み慣れた地域で人生の最後まで過ごせる社会を目指すことを謳い、各地域で展開しようとしているシステムです。超高齢少子多死時代にむけて、必要なことは関係者の間では周知されています。しかし、その実際はなかなか難しい現状があります。

その理由の一つは、複雑な社会課題であり、縦割りの社会では、それぞれが別々に活動しても、なかなか前に進みません。また、様々な地域のイベントを行っても、集まって来るのはいつも同じメンバーで、届いてほしい人達には、届かない現状もあります。どうしたら大切な地域包括ケアシステムを進めていくことができるのでしょうか？

それぞれの地域には、少しでも地域が良くなるように活動している諸団体があります。その仲間を1つにする工夫が必要になると考えます。

複雑で予測困難な社会課題を、一つの組織でできることを超えて社会システムとして解決する際に適した概念としてCollective Impact があります。Collective Impact が成り立つ条件は、以下の5つです。

- ① 特定の社会課題を解決することを目指す共通のアジェンダ設定 (Common Agenda)
- ② 個別団体が測りたい指標ではなく、問題解決の進捗を測る共通の評価指標 (Shared Measurement)
- ③ 各団体が個別に動くのではなく、互いに課題解決を促進し合う協働 (Mutually Reinforcing Activities)
- ④ 単発の打合せで終わるのではなく、継続的なコミュニケーション (Continuous Communication)
- ⑤ 継続的コミュニケーションをファシリテーションすることができる屋台骨となる組織の存在 (Backbone Support)

つまり、それぞれの地域で活動する仲間と共に、

1. 共通のアジェンダを共有
2. 共通の活動成果を測る評価尺度を共有
3. ゆるく繋がりながら定期的に情報交換を行う場を作る

そこで求められる看取りという大きな苦しみに誠実に関われる対人援助のプログラムを、共通のアジェンダの中に組み込むことを提案したいと思います。

超高齢少子多死時代は、生態系(エコシステム)の変化ととらえ、特に解決が困難な苦しみを抱えた人に対して、どのような関わりが求められるのかを、医療・介護に携わる人達だけではなく、家族・友人・職場・地域社会として、学びながら文化創造していく位の規模で考え行かないと間に合わないことでしょうか。一緒に夢を追いかけてませんか？厳しい時代であったとしても、仲間と共に持続可能な社会を夢見たいと思います。

今年もよろしくお願ひいたします。 小澤竹俊

### スタッフが増えました

1月より医師1名、看護師2名のスタッフが入職しました。池添先生、寺田さん、秋葉さんです。それぞれ苦しむ人の力になりたい思いで加わって頂きました。24時間365日の診療を志のある仲間とともに活動しながら、安心して人生の最後まで過ごせる地域社会を目指します。

### JAMMIN チャリティーTシャツ

ファッションを通じて社会に貢献するチャリティーブランド JAMMIN さんとのコラボレーションの機会をいただきました。社会課題の解決に取り組む団体を週替わりで紹介し、その活動メッセージを込めたオリジナルデザインTシャツを制作・販売することで、社会的に重要でありながら必ずしも認知度が高くはない課題の存在を、広く知ってもらうことをめざし活動している団体です。

<https://jammin.co.jp/> キャンペーン期間：2018年1月29日(月)～2月4日(日)

なお、ご購入いただいたTシャツ代金のうち、1枚につき700円がチャリティーとしてエンドオブライフ・ケア協会に贈られます。

### 診療実績

	2006-2016年	2017年1-9月	10月	11月	12月	2017年計	総計
訪問回数	50,852	6,917	757	743	844	9,261	60,113
自宅永眠	1,769	161	17	26	12	216	1,985
施設永眠	218	46	8	2	7	63	281
在宅 (自宅+施設)	1,987	207	25	28	19	279	2,266
病院永眠	487	77	15	7	8	107	594